主要国・国際機関等のニュース記事一覧

注目記事	No.	公開日	機関名	キーワード	ニュースタイトル(原文)	ニュースポイント(短文)	内容	感染症種別	ニュース種別										リンク1	リンク2	リンク3	リンク4
									当該機関の戦略/方針	ワクチン開発進捗	取組		資金提供			イベント	組織設立・再編	感染症状況				
											当該機関	支援対象	重点感染症	その他疾患	外部から当該機関へ							
	1	2024/5/20	WHO	WHO認定機関(WLAs), ワクチンアクセス	Largest number of regulatory agencies for medical products approved as WHO Listed Authorities	WHOがWHO認定機関 (WHO Listed Authorities, WLAs)にFDA、欧州医薬品規制ネットワーク(EMRN)等新たな規制当局を指定	WHOは、33の国と地域の規制当局をWHO認定機関(WLAs)に指定した。WLAsは医薬品やワクチンの品質、安全性、有効性に関する最高レベルの規制基準があり、それを実践して、信頼できる機関である。2022年3月発足以来、今回の登録で34加盟国、36の規制当局がWLAに指定されたことになる。 新たに承認されたWLAsには、FDA、欧州医薬品規制ネットワーク(EMRN)が含まれる。さらに、2023年10月に指定されていたシンガポールの保健科学庁(HSA)には、機能範囲の拡大が承認された。 WHO事務局長は、主要な規制当局が加わったことで、より強固な団結力を発揮し、より多くの人々のために、高品質で安全かつ効果的な医薬品とワクチンへのアクセスを改善することが可能となる、と述べている。	—	●											リンク			
	2	2024/5/22	WHO	リーチング・ザ・ラスト・マイル(RLM), NTDs, マラリア, 気候変動	New research flags the urgent need for research and evidence on the impact of climate change on neglected tropical diseases and malaria	WHOタスクチームがリーチング・ザ・ラスト・マイル(RLM)と共同で顧みられない熱帯病(NTDs)とマラリアに対する気候変動の影響に関する研究とエビデンスが緊急に必要であるという研究を発表	WHOの「気候変動と顧みられない熱帯病(NTDs)およびマラリアに関するタスクチーム」は、リーチング・ザ・ラスト・マイル(RLM)と共同で、スコーピング・レビューを発表した。 その結果、人為的な気候パターンの変化がマラリアとNTDsに与える実際の影響と潜在的な影響について、まだ十分な理解が得られていないことが明らかになった。 筆者らは、レビューで示された知見は、気候変動がマラリアとNTDsに及ぼす影響を、よりよく理解し予測するために、より包括的で協力的かつ標準化されたモデリングが必要であると述べている。また、タイムリーでエビデンスに基づいた介入策の開発を支援し気候変動が人間の健康に及ぼす最悪の結果を予測し緩和するために、研究への投資拡大が緊急に必要であるとも述べている。	マラリア, NTDs			●									リンク			
★	3	2024/5/23	CEPI	オックスフォード大学パンデミック科学研究所, シミレーション	University of Oxford pandemic computer simulations to guide future vaccine trials｜CEPI	オックスフォード大学が次のパンデミックを引き起こす可能性が最も高いウイルスに対する世界の対応をモデル化する新しいコンピューター・シミュレーションを開始	オックスフォード大学パンデミック科学研究所は、次のパンデミックを引き起こす可能性が最も高いウイルスのいくつかに対する世界の対応を強化する方法をモデル化する新しいコンピューター・シミュレーションを開始した。 本プロジェクトに対してCEPIから最大240万ドルの資金提供を受け、研究者たちは、ワクチン臨床試験がどのように実施され、どのような結果をもたらす可能性があるかをモデル化するために、致死的な疾病発生の現実のシナリオをシミュレートする。 今回対象の感染症は、ニパウイルス、チクングニア熱、ラッサ熱、リフトバレー熱、エボラ出血熱とその関連ウイルス、コロナウイルス、Disease Xである。これらはCEPI、WHOの研究開発計画(R&D Blueprint)においてプライオリティが置かれている。	ニパウイルス、チクングニア熱、ラッサ熱、リフトバレー熱、エボラ出血熱とその関連ウイルス、コロナウイルス、Disease X				●								リンク			
	4	2024/5/23	WHO	世界保健総会(WHA), 国際保健規則, パンデミック	”All for Health, Health for All” sets the stage for the Seventy-seventh World Health Assembly	2024年5月27日～6月1日に開催予定の第77回世界保健総会(WHA)で、パンデミックの予防、準備、対応に関する合意と国際保健規則の改正等が議論される予定	WHOの年次総会である第77回世界保健総会(WHA)が「すべての健康のために、健康のためのすべて」をテーマに、2024/5/27～6/1の日程で開催される予定である。この総会は、気候変動による緊急事態や、高血圧や肥満といった疾患の増加の中で、HIV、麻疹、ポリオといった既存の世界的な保健上の課題に取り組むための重要なプラットフォームとしての役割を果たす。 保健総会で期待される重要な瞬間のひとつは、パンデミックの予防、準備、対応に関する合意と国際保健規則の改正であり、世界的な準備と対応メカニズムを強化するための加盟国による協調的な努力を示すものである。 5/26の開会式では、WHOへの持続可能な資金拠出を確保するため、WHO投資ラウンドへの取り組みが開始される。さらに、5/28には、WHOの第3次投資案件が発表され、2025年から2028年までのWHOの戦略である第14次一般活動計画(GPW14)が完全に実行された場合、救われる命がさらに増えるという価値提案が説明される。	ー	●											リンク			
	5	2024/5/24	WHO	世界保健総会(WHA),パンデミック協定	WHO Member States agree to share outcomes of historic IHR, pandemic agreement processes to World Health Assembly	WHO加盟国は国際保健規則(IHR)とパンデミック協定の交渉の結果を、2024/5/27から開催される世界保健総会で共有することに合意	WHO加盟国は、将来のパンデミックやアウトブレイクに対応するための世界的な能力強化を目的とした集中的な交渉を終了し、2024/5/27から開催される世界保健総会での審議に向け、その内容を提出することに合意した。 この交渉では、国際保健規則(2005年)の一連の改正と、史上初のパンデミック協定、条約、その他の法的文書を作成するため、2つの並行したプロセスが実施された。5月27日から6月1日にかけて開催される第77回世界保健総会では、両プロセスの成果と次のステップについて検討される。	ー	●											リンク			

★	6	2024/5/24	WHO	Mpox, 戦略的枠組み	WHO releases a strategic framework for enhancing prevention and control of mpox	WHOがmpox の発生を予防・制御し、人から人への感染をなくし、動物から人へのウイルスの流出を減らすための指針となる新たな戦略的枠組み(The Strategic framework for enhancing prevention and control of mpox (2024–2027))を発表	WHOが発表したmpoxの予防と制御に関する新たな戦略的枠組み(The Strategic framework for enhancing prevention and control of mpox (2024–2027))は、保健当局、地域社会、その他の関係者が、mpoxの発生を予防・制御し、人から人への感染をなくし、動物から人へのウイルスの流出を減らすための指針となるものである。 Mpox には、クレードIとクレードIIの2つの異なるクレード(系統)があり、2017年にIIのクレードに関連する大規模なmpoxの発生が始まり、2022年以降、世界中に広がった。これはほぼ沈静化したものの、現在も症例と死亡例が報告され続けており、低レベルの感染が世界中で続いていることを示している。 新たな枠組みは、世界中の保健当局、地域社会、関係者が、あらゆる状況においてMpox の発生を制圧し、mpox の研究と対策へのアクセスを進め、人獣共通感染症を最小限に抑えるためのロードマップを提供するものである。	Mpox	●		●								リンク			
	7	2024/5/24	WHO	世界保健統計2024, 平均寿命	COVID-19 eliminated a decade of progress in global level of life expectancy	WHOは世界保健統計2024にてCOVID-19パンデミックにより全世界の平均寿命が低下したことを発表	WHOは世界保健統計2024にて、2019年から2021年にかけて、世界の平均寿命は1.8年低下して71.4年になり、世界の健康寿命も1.5年低下し、2021年には61.9年となったことを発表した。 これらは、2012年水準であり、10年近くの進歩が消失したことを示している。WHO事務局長は、このような消失があったからこそ、新たなパンデミック協定は非常に重要であり、グローバルな保健の安全保障を強化するだけでなく、保健への長期的な投資を保護し、国内および国家間の公平性を促進するのだと述べている。	コロナウイルス感染症			●								リンク			
	8	2024/5/24	NIH, NIAID	FDA, インフルエンザ, 牛乳	High H5N1 influenza levels found in mice given raw milk from infected dairy cows | National Institutes of Health (NIH)	NIAIDによって資金提供された研究がH5N1インフルエンザ感染動物の生乳の摂取が動物においてH5N1感染リスクがあることを示唆	NIAIDによって資金提供されたNew England Journal of Medicineに掲載された研究結果によると、H5N1インフルエンザ感染牛の生乳をネズミに投与すると、呼吸器官に高いウイルス量が、他の重要器官には低いウイルス量が確認された。 これは、動物の生乳摂取はH5N1感染のリスクをもたらす可能性があることを示しており、ヒトにおける潜在的リスクについても疑問を投げかけている。米国食品医薬品局(FDA)が実施した乳製品に関する調査ではすべてのサンプルにおいてウイルスは陰性を示しており、商業用ミルクの供給が安全であると現時点ではエビデンスから総合的に判断している。	インフルエンザ				●								リンク	リンク	リンク	
	9	2024/5/28	WHO	世界保健総会 (WHA), パンデミック協定, 国際保健規則(IHR)	WHO Member States agree way forward to conclude Pandemic Agreement	WHA加盟国は世界保健総会中に国際保健規則(IHR, 2005)の改正パッケージを最終化することとパンデミック協定を締結するためのタイミング、形式、プロセスに合意することを目標として取り組むことに合意	5月28日の世界保健総会(WHA)では、加盟国がパンデミック協定を策定し、国際保健規則 (IHR, 2005)を強化するために過去2年間に達成した進歩を確認した。 ジュネーブで開催されている第77回世界保健総会の政府代表たちは、これら2つの取り組みを推進するために協議を行っており、将来のパンデミックの脅威に対する予防と対応能力を向上させることを目指している。 WHA加盟国は6月1日に終了する世界保健総会中に国際保健規則(IHR, 2005)の改正パッケージを最終化することとパンデミック協定を締結するためのタイミング、形式、プロセスに合意することを目標として取り組むことに合意した。	—	●											リンク			
★	10	2024/5/28	CEPI	アフリカCDC, 将来的なパンデミック, アフリカにおけるワクチン製造	Africa CDC and CEPI deepen partnership to fortify African preparedness against disease outbreaks | CEPI	CEPIとアフリカCDCはアフリカにおける伝染病とパンデミックの予防、準備、対応を強化するためのパートナーシップを拡大する覚書に署名	CEPIとアフリカCDCはアフリカにおける伝染病とパンデミックの予防、準備、対応を強化するためのパートナーシップを拡大する覚書に署名した。 両組織はアフリカのワクチン研究、開発、持続可能な製造を促進し、新興感染症に対する迅速かつ公平な対応を促進するために協力する予定である。また、アフリカCDCには、2040年までにアフリカで必要なワクチンの内の60%をアフリカで製造するという目標があり、このためにもパートナーシップは拡大された。	—	●											リンク			
	11	2024/5/28	UNICEF, WHO	麻疹, ワクチンで予防可能な疾患(VPD)	Measles cases across Europe continue to surge, putting millions of children at risk	WHOとユニセフによる欧州での麻疹蔓延の警告	WHOとユニセフは、欧州全域で麻疹患者が急増し続けており、2024年の麻疹患者数が2023年の総患者数を間もなく上回ると警告した。 これは、COVID-19の流行時にワクチンで予防可能な疾患(VPD)に対する予防接種を受けなかった小児が増えたこと、そして2021年と2022年のワクチン接種率の回復が遅いことが要因である。 ユニセフの欧州・中央アジア地域事務局長は、麻疹患者の増加は予防接種率が低下していることを明らかに反映しており、保健システムを強化し、効果的な公衆衛生対策を実施するための政府の緊急行動が必要である、と述べている。	麻疹										●	リンク	リンク		
★	12	2024/5/28	CEPI	韓国KDCA	CEPI teams up with Korea's pandemic agency to fight future disease outbreaks | CEPI	CEPIがKDCAとの提携発表	CEPIは韓国疾病管理本部(KDCA)と連携し、将来的なパンデミックから韓国と世界を守る計画を進めることを発表した。両組織はMERS、エボラ、Mpoxなどの既知の感染症やDisease Xのような未知の感染症対応するために、ワクチンなどの生物学的対策を開発するために協力することとなる。	MERS, エボラ, Mpox, Disease X	●											リンク			
★	13	2024/5/28	WHO	WHO4カ年戦略	WHO's investment case launch draws expressions of support, pledges to sustainably finance four-year strategy	WHOが4カ年戦略の内容と戦略への投資呼びかけを発表	WHOは「2025-2028年戦略」の投資案件を発表し、4,000万人の命を救い、60億人の健康を改善するための投資を求めた。 これには、加盟国やEUからの支援および資金提供の約束が表明されている。また、本事例による活動により、感染症などの危険因子に対して、どのように活動を行えば命を救うことができるのかを説明しており、今後4年間の活動例も示されている。	—	●		●								リンク			

★	14	2024/5/29	CEPI	Biontech, ルワンダ,アフリカ,mRNAワクチン	BioNTech and CEPI expand partnership to strengthen Africa's mRNA vaccine ecosystem｜CEPI	CEPIは米国1億4500万ドルをBioNTechに資金提供し、ルワンダのキガリにあるBioNTechの施設でのmRNAワクチンの研究開発、臨床試験、商業規模の製造能力を確立予定	CEPIは、1億4500万ドルをBioNTechに資金提供し、ルワンダのキガリにあるBioNTechの施設でmRNAワクチンの研究開発、臨床試験、商業規模の製造能力を確立する予定。 BioNTechのキガリ製造施設は、2023年12月に開所したアフリカ初の商業mRNA施設であり、アフリカ連合とアフリカCDCの目標である2040年までにアフリカ大陸で必要な合計ワクチン量の60%を生産することを目指している。	ー	●					●					リンク			
★	15	2024/5/30	CEPI, Gavi	COVAX,ワクチンアクセス	CEPI and Gavi extend partnership to target future disease outbreaks｜CEPI	CEPIとGaviは、将来の疾病の発生に対処するためにパートナーシップを拡大	CEPIとGaviは、COVAXの共同リーダーとしてCOVID-19ワクチンの公平なアクセスを推進する取り組みで協力してきたが、将来の疾病の発生に対処するための取り組み強化のためにパートナーシップを拡大した。 締結された覚書により、両組織間でグローバルヘルスとワクチンに関する情報をより迅速に共有し、将来の感染症に対する備えと対応を強化する。また、CEPIとGaviのそれぞれの専門分野を活用することで、貧富の差によらず最もワクチンを必要としている人々に公平にアクセスさせることをその目的としている。	ー	●										リンク	リンク		
★	16	2024/5/30	CEPI	Bavarian Nordic, Mpoxワクチン, MVA-BN,小児	Bavarian Nordic and CEPI partner to advance Mpox vaccination in Africa｜CEPI	Bavarian NordicとCEPIは、アフリカの子供たちを対象にしたmpoxワクチンの開発を進めるためのパートナーシップを発表	Bavarian NordicとCEPIは、アフリカの子供たちを対象にしたmpoxワクチンの開発を進めるためのパートナーシップを発表した。 CEPIは、第2相臨床研究支援のために650万ドルを提供し、2歳から12歳未満の子供と18歳から50歳の成人を対象に、MVA-BN®非増幅ワクチンの免疫原性と安全性を評価する予定。 この試験による結果により、現在の成人向けの規制承認に加えて、2～12歳の子供を対象にmpoxワクチンの使用を拡大することを支援する可能性がある。Bavarian Nordicは、2024年後半に開始予定の臨床試験のスポンサーとなり、1つ以上のアフリカ諸国で実施される予定。	Mpox	●	●			●						リンク			
★	17	2024/6/1	WHO	世界保健総会(WHA),国際保健規則, パンデミック協定	World Health Assembly agreement reached on wide-ranging, decisive package of amendments to improve the International Health Regulations	世界保健総会(WHA)にて国際保健規則(2005年版)(IHR)の重要な改正案が合意するとともに、可能なら2024年中、遅くても1年以内に世界的なパンデミック協定の交渉を完了させると具体的に約束	2024/6/1 WHOの年次総会である世界保健総会(WHA)にて、国際保健規則(2005年版)(IHR)の重要な改正案に合意するとともに、可能なら2024年中、遅くても1年以内に世界的な「パンデミック協定」の交渉を完了させると具体的に約束した。これらは、将来発生するアウトブレイクやパンデミックのリスクから、世界中のすべての人々の健康と安全を守るための包括的で強固なシステムを、すべての国で確実に整備するために取られたものである。これらの決定は、COVID-19パンデミックを含むいくつかの世界的な保健衛生上の緊急事態から学んだ教訓を基にしたものである。	ー	●										リンク	リンク		
	18	2024/6/1	CEPI	WHOパンデミック協定	CEPI statement in response to Pandemic Agreement negotiation extension｜CEPI	WHOパンデミック協定交渉の延長に対するCEPIの声明	CEPIはWHOのパンデミック協定交渉について声明を発表した。 すべての国により安全な未来を築く一世一代の機会であり、勢いが消え去ることを許してはならない。CEPIは、WHO加盟国がパンデミック協定について引き続き協議を進めることを歓迎し、早期に合意にいたるように政府に努力することを呼びかける。	ー	●										リンク			
★	19	2024/6/4	IVI	韓国KAIST, Kenya-AIST Council, ワクチン研究開発	IVI exchanges trilateral MOU with KAIST and Kenya-AIST Council for cooperation in vaccine R&D on the occasion of the Korea-Africa Summit in Seoul - IVI	ソウルで開催された韓国-アフリカサミットで、IVI、KAIST(韓国科学技術院)、Kenya-AIST Council間でワクチンの研究開発協力に関する三者間の覚書(MOU)を締結	IVIは、KAIST(韓国科学技術院)とKenya-AIST Councilとワクチン研究開発の三者間協力に関する覚書を交わした。 この取り決めは、グローバル共同資金を通じたワクチン研究開発、学生教育・交流支援、臨床研究に関する国際研究機関との協力、ケニア産総研の教員採用、カリキュラム開発支援、グローバルヘルスケア構想などの分野で協力を模索することが含まれている。本件は2023年11月にKAISTとIVIの間で締結された合意の後続措置である。	ー	●										リンク			
	20	2024/6/4	CEPI	新規公募, Filovirus	CEPI seeks to fund new innovations for broad protection against Ebola and other deadly Filoviruses｜CEPI	CEPI, エボラ出血熱やその他の致死的なフィロウイルスから広く身を守るための新たな技術革新に対して資金提供	CEPIは、致死性出血熱ウイルスであるエボラとマールブルグ、およびフィロウイルス科の他の病原体に対する防御を目指す新しいワクチンの開発に関して、新しいアイデアを持つ研究者を募集している。 CEPIがEUの「Horizon Europe」プログラムから支援を受けている提案募集の中で、5年半で総額5,000万ユーロを投じ、3～5件の新しいフィロウイルス・ワクチン・プロジェクトに資金を提供予定。この募集は2024年8月4日まで受け付けている。	エボラ出血熱, フィロウイルス						●					リンク			
★	21	2024/6/5	NIH, NIAID	インフルエンザ, 基礎研究	NIH releases H5N1 influenza research agenda｜National Institutes of Health (NIH)	NIAIDは、H5N1インフルエンザの基礎研究を進め、その成果を人々のために活用する計画を発表	NIAIDは、H5N1インフルエンザの基礎研究を進め、その成果を人々のために活用する計画を発表した。 この研究計画では、H5N1ウイルスの生物学的性質や感染力の要因、ワクチンなどの予防策、治療法、検出法に焦点を当てている。 この研究は、長年にわたるインフルエンザ研究努力を基盤としており、H5N1 インフルエンザウイルスのヒトからヒトへの感染の可能性を含め、米国の乳牛で発生している現在のアウトブレイクに対処するものでもある。NIAIDは、この計画の目標を達成するために、国内外の研究インフラを活用する予定である。	インフルエンザ	●										リンク	リンク		

	22	2024/6/6	WHO	WHO慢性呼吸器疾患担当事務局長特使	Mr José Luis Castro appointed as WHO Director-General Special Envoy for Chronic Respiratory Diseases	ホセ・ルイス・カストロ氏がWHO慢性呼吸器疾患担当事務局長特使に就任	WHOは、慢性呼吸器疾患（CRD）を専門とする事務局長特使にホセ・ルイス・カストロ氏を任命したことを発表した。 CRDは、喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などを含み、世界中で約5億人に影響を及ぼしている。 WHOのCRDに関する取組は、喘息とCOPDの診断と管理をプライマリーヘルスケアに統合することに重点を置いており、同時に肺の健康に対するリスクとして、タバコの煙、大気汚染、結核や肺炎などの感染症を強調している。カストロ氏の任命は、呼吸器系の健康の重要性にスポットライトを当てることで、WHOを支援することを目的としている。	ー	●										リンク			
★	23	2024/6/7	Gavi	Gavi 6.0	Gavi Board approves next five year strategy; outlines plans to support access to new vaccines, global health security, and sustainability	Gaviの理事会は新しいワクチンへのアクセス、世界の健康安全保障、持続可能性をサポートする計画である2026～2030年戦略"Gavi 6.0 "を承認	Gaviの理事会は2026～2030年戦略である "Gavi 6.0 "の承認、Gaviのワクチンポートフォリオの拡大、アフリカのワクチン製造アクセラレータや将来のパンデミックに備えたファースト・レスポンス基金を通じたグローバル・ヘルス・セキュリティーと地域製造の支援計画など、世界の予防接種を加速するための枠組みを提供する一連の決定を発表した。	ー	●										リンク			
	24	2024/6/13	Gavi, WHO	狂犬病ワクチン, 暴露後予防	Gavi to boost access to life-saving human rabies vaccines in over 50 countries	Gaviは、パートナーとの協力のもと、定期予防接種の一環としての曝露後予防（PEP）用のヒト狂犬病ワクチンへの支援を発表	Gaviは、パートナーとの協力のもと、定期予防接種の一環としての曝露後予防（PEP）用のヒト狂犬病ワクチンへの支援を発表した。 Gaviの共同財源政策の下で、対象となる国はヒト用狂犬病ワクチンに投資するための支援を申請することができる。Gaviへの資金申請は、2024年7月15日までと2024年9月23日まで受け付ける。その後も3回にわたり、定期的に資金枠が開放される。この取組は、国連食糧農業機関（FAO）、WHO、世界動物保健機関（WOAH）を含む狂犬病撲滅連合パートナーが主導し、2030年までに犬が媒介するヒトの狂犬病を撲滅することを目標に掲げている「Zero by 30」キャンペーンの一環である。	狂犬病						●					リンク	リンク		
	25	2024/6/14	GHIT Fund	新規公募, 製品開発プログラム, 開発途上国	Apply for Funding Product Development Platform	GHIT fundは2024年度第2回目の製品開発プログラムの提案依頼（RFP）を発表	GHIT fundは2024年度第2回目の製品開発プログラムの提案依頼（RFP）を発表した。開発途上国で広まっている感染症に対する新しい医薬品、ワクチン、診断薬の開発に関する提案を募集している。提案されるプロジェクトは、開発途上国の保健上のニーズに対応するもの、あるいは感染症に関するグローバルヘルス技術のギャップを埋めるものでなければならない。	感染症全般					●	●					リンク	リンク		
	26	2024/6/14	GHIT Fund	新規公募, 標的研究プログラム, 日本技術	Apply for Funding Target Research Platform	GHIT fundが標的研究プログラムに関する提案依頼（RFP）を発表	GHIT fundは2024年度第2回目の標的研究プログラム（TRP）の提案依頼書（RFP）を発表した。マラリア、結核、顧みられない熱帯病におけるアンメット・ニーズや優先的ニーズに対応する技術やアプローチに焦点を当てている。 提案されるプロジェクトは、主に日本の科学技術に由来するもの、または日本の科学技術に実質的に関与するものでなければならず、パートナーシップは、適格な日本の組織と外国の組織との間で結ばれる必要がある。	マラリア, 結核, NTDs					●	●					リンク	リンク		

注目記事星取ルール
ワクチンの開発状況
ワクチンや重点感染症に関するFAの戦略/方針
ワクチン開発関連において新規技術の活用